

## 第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年 9月25日(木) 5校時  
児 童 男子11名 女子12名 計23名  
指導者 大志田 美樹子

- 1 単元名 くらべてよもう  
教材名 じどう車くらべ(説明的文章)

### 2 単元について

第1学年及び第2学年の「読むこと」領域の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる」である。本単元では、「三種類の自動車について、しごととつくりの関係を考えながら内容の大体を読む。」(イ)を主たる目標としている。

本教材は、この時期の児童の多くが興味・関心を持つ自動車を取りあげた説明的文章である。構成は四つの意味段落からなっており、第一段落で「話題・問題提起」、第二～第四段落で「その説明」がなされる。第一段落における二つの「問い」に対し、第二～第四段落で三種類の自動車の「しごと」とそのための「つくり」という二観点で答えを述べる形となっている。そして、今まで学習してきたことを使って「はしご車」と自分の好きな自動車について絵と文章で説明する学習へとつなげる。本教材を読み取っていく際、「二観点に着目して読む」という明確なねらいがあるため、児童が事柄の順序と関係を考えながら読み進めるのに適しており、児童の主体的な文章理解や表現活動を促すことが適した教材であると考えられる。

児童はこれまで、説明的文章「いろいろなくちばし」の学習を通して「問い」と「答え」の説明文の基本的な文型、及び挿絵と文から説明されている事柄を正確に読み取れることを学習してきた。

説明的文章を読むにあたり、質問文やその答え、くちばしの使いみちやえさが書かれている文にサイドラインを引いたり丸で囲んだりして内容をとらえる活動を行ってきたが、自分一人だけでは大切な言葉や文章を見つけられない児童もいた。音読については毎日の家庭学習で取り組みおおむねスムーズな読みができてはいるが、内容を考えて読もうとする意識が不十分である。

児童の国語科に対する意識を見ると、読書好きで国語の授業が楽しいと思う子が多く、音読や暗唱も進んで行っている。友達の発表を聞くことはできるようになってきているが、自分と同じ考えや相違点を見つけられても考えを深めるところまでにはいたっていない。まずは、自分の考えをもって発表できるように指導し、聞き取る視点を与え、より友達の考えも聞けるようにさせながら読み取ることの面白さ、大切さを感じさせる必要がある。

指導にあたっては、第一次で、挿絵から気づいたことや自動車についての自分の体験などを十分に話し合わせ、興味・関心を高めるとともに、自動車の「しごと」と「つくり」の二観点に着目して読むことを確認する。また、「じどう車ずかん」を作る活動を通して、読み取った後に1枚ずつ図鑑のページが増え、最後のページは自分の好きな自動車について説明できるという楽しさを、大きな読みのめあてとしたい。第二次では、文章のつくりが「しごと」とそのための「つくり」になっていることを確認し、その順で繰り返し読み取ることにより事柄の順序を意識させていく。主述の他に、「そのために」も押さえながら正確に読み取ったことを「じどう車インタビュー」でよりかくにんするようにする。第三次では、第二次で学習したことをもとに「はしご車」の「しごと」と「つくり」について「そのために」の語句の意味と使い方を全体で確認しながら書く。自分の好きな自動車の二観点を図鑑などで調べ、「じどう車ずかん」を作りあげた喜びを全体で共有させたい。

### 3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・いろいろな自動車の「しごと」や「つくり」に関心をもちながら読もうとする。

(2) 書くこと

- ・教材文を参考にし、簡単な組み立てを考えて、好きな自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文を書くことができる。(書 ウ)

(3) 読むこと

- ・三種類の自動車について、「しごと」と「つくり」の関係を考えながら内容の大体を読むことができる。(読 イ)

(4) 言語事項

- ・片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。(言 イ (ア))

### 4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
・自動車の「しごと」や「つくり」に興味をもち、「自動車図鑑」を作るために、絵本や図鑑などを読もうとしている。	・好きな自動車について、「しごと」と「つくり」を説明する文章を書いている。	・車の「しごと」と「つくり」に分けて視写しながら、内容を正しく読み取っている。	・片仮名で正しく読んだり、書いたりしている。

### 5 単元の指導計画 (9時間 読6時間 書3時間)

段階	時数	主な学習内容	評価規準と評価方法
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題名や挿絵、文章を見たり読んだりして、気づいたことや自分の自動車に関する経験などを発表し合う。</li> <li>・全文を通読し、初発の感想を書く。</li> <li>・「じどう車ずかん」を作ることを知る。</li> <li>・新出漢字や片仮名を学習する。</li> </ul>	関 興味をもって絵をよく見たり、文章を読んで気づいたことや自動車に関する体験を発表したりしようとしている。(発言・挙手・態度) 読 全文を読み、初発の感想をもっているか。(発表・じどう車カード)
見通す	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を比べながら読み取ることを確認する。</li> <li>・「はしご車」は全員で、「好きな自動車」は自分だけで書くことを知る。</li> <li>・1字下がりの意味を知り、段落分けをする。</li> <li>・紹介された本などで並行読書を始める。</li> </ul>	関 大まかな文章構成をつかみもうとしたり、並行読書に意欲的に取り組もうとしたりしている。(発言・挙手・態度) 読 1字下がりに気をつけながら読み、問いかけの語や文のまとまりから課題を捉えている。(発言・じどう車カード)
第二次	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスや乗用車の「しごと」と「つくり」について読み取り、「じどう車カード」にまとめて、その文章の内容をとらえることができるようにする。</li> </ul>	関 バスや乗用車の「しごと」と「つくり」に興味をもち、進んで読み取ろうとしている。(発言・挙手・態度) 読 バスや乗用車の「しごと」と「つくり」に線を引き、その関係について読み取っている。(発言・ライン・じどう車カード)

深める	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラックの「しごと」と「つくり」について読み取り、「じどう車カード」にまとめて、その文章の内容やバスやじょうよう車との違いをとらえることができるようにする。</li> </ul>	<p>関 トラックの「しごと」と「つくり」に興味をもち、進んで読み取ろうとしている。(発言・挙手・態度)</p> <p>読 トラックの「しごと」と「つくり」に線を引き、その関係について読み取っている。(発言・ライン・じどう車カード)</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取り、「じどう車カード」にまとめて、その文章の内容やバスやじょうよう車、トラックとの違いをとらえられるようにする。</li> </ul>	<p>関 クレーン車の「しごと」と「つくり」に興味をもち、進んで読み取ろうとしている。(発言・挙手・態度)</p> <p>読 クレーン車の「しごと」や「つくり」に線を引き、その関係について読み取っている。(発言・ライン・じどう車カード)</p>
第三次 まとめ	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>今まで学習してきたことを使って、はしご車の「しごと」と「つくり」について「じどう車カード」に説明する文章を書く。</li> </ul>	<p>関 はしご車について既知の事柄を使って、文章を書こうとしている。(発言・挙手・態度)</p> <p>書 「しごと」と「つくり」の順序を考えながら既習の文型を生かし、はしご車について簡単な組み立ての説明文を書いている。(発言・じどう車カード)</p>
第四次 ひろげる	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習を振り返り、それぞれのじどう車を比べながら違いを確かめる。</li> <li>並行読書で読んできた本の中から、好きな自動車を探し、選んだ理由と絵をカードにかく。</li> </ul>	<p>関 今まで読んだ本の中から、自分の好きな自動車について進んで探し、自分の思いを込めて絵を描こうとしている。(発言・挙手・態度)</p> <p>書 好きな自動車に選んだ理由の文章を書いている。(発言・じどう車カード)</p>
	8 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>今まで学習してきたことを使って、自分の好きな自動車の「しごと」と「つくり」について、「じどう車カード」に説明する文章を書く。</li> </ul>	<p>関 自分の選んだ自動車について進んで調べたり考えようとしていたりしている。(発言・挙手・態度)</p> <p>書 「しごと」と「つくり」の順序を考えながら、既習の文型を生かして、好きな自動車について簡単な組み立ての説明文を書いている。(発言・じどう車カード)</p>
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ぼくの・わたしのおきにいりのじどう車」発表会をして友達と交流する。</li> </ul>	<p>関 自分の「おきにいりのじどう車」を発表したり、友だちの発表を聞いたりして、よさや違いを見つけようとしている。(発言・挙手・態度)</p> <p>読 友達の「じどう車カード」を「しごと」と「つくり」の関わりをとらえたことなどを感想に書く。(発言・じどう車カード)</p>

6 本時の指導

(1) 目標

読み取ってきたことや書き方など習ったことを生かし、自分の好きなじどう車の「しごと」と「つくり」を考え、説明する文を書くことができる。

(2) 展開

段階	学習活動 ○主発問	教師の働きかけと予想される反応	個への支援と評価の観点(方法) ・留意点
つかむ  5分	1 前時を想起する。  2 本時の学習課題を把握する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             おきにいりのじどう車の「しごと」や「つくり」をしょうかいするぶんをかこう。           </div>	1 前時の学習を確認する。  2 学習課題を提示する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの自動車は「しごと」に合わせた「つくり」になっていることを確認する。</li> <li>本時の学習内容が「自分の好きなじどう車紹介」ということから学習への意欲付けを図る。</li> </ul>
考える  20分	3 おきにいりのじどう車の「しごと」と「つくり」を考えて、カードに書く。  ○みんなが選んだ「おきにいりのじどう車」は、どんな「しごと」をしていますか。そのために、どんな「つくり」になっていますか。選んだ理由を読んだり、写真をよく見たりして考えて書きましょう。  (一人学び)	3 画像などから、おきにいりのじどう車の「しごと」「つくり」を調べる。  <ul style="list-style-type: none"> <li>「しごと」を確かめ、カードに書く。</li> <li>画像をよく見ながら「つくり」を考えて、カードに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「しごと」は「自分が選んだ理由」の文章をよく読んで確かめさせる。</li> <li>「つくり」を複数見つけられるために挿絵をよく見させる。</li> <li>段落を意識させるために1字下げたり、つながっているときは下げないようにしたりしながら書くようにさせる。</li> </ul> 支 「そのために」を「このしごとをするために」と言い直して、どんなつくりになっているのか画像をもとに考えさせる。 評 「しごと」や「つくり」を自分で探したり考えたりしての書くことができているか。(カード)
深める	4 読み取ったことをもとに確かめ合う。(ペアでの学び合い)  5 学習内容を確認める。(学び合い)	4 一人学びによって読み取った内容を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>お互いに読みながら「しごと」「つくり」について内容を確かめる。</li> </ul> 5 おきにいりのじどう車の「しごと」と「つくり」を「そのために」でつなげてかけているか確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きなじどう車の挿絵と照応させながら、2観点を確かめさせる。</li> </ul> 評 「しごと」や「つくり」を、学び合ったこと生かして、書いたり、書き足したりして、説明する文を書くことができているか。(カード)

15分	<p>具体の評価規準</p> <p>A: 「しごと」と「つくり」の対応を考えながら、順序に沿ってわかりやすく説明する文を書いている。</p> <p>B: 「しごと」と「つくり」を考え、それをもとに説明する文を書いている。</p> <p>Cへの支援: 選んだ理由を読んだり、画像の様子に着目させたりして「しごと」や「つくり」を考えさせる。</p>		
	まとめ	6 本時の学習のまとめをする。	6 「じどう車カード」を発表する。 ・指名読み ・感想を発表する。
5分	7 次時の学習について確認する。	7 ずかんを完成させ、「おきにいりのじどう車」発表会することを伝える。	・次時の学習への期待をもたせる。

7 板書計画

めあて

じどう車くわへ

おきにいりのじどう車の「しごと」「や」「つくり」をしようかいするぶんをかこう。

児童がえらんだ  
おきにいりの車の写真

かきかた

かきははじめは一じ さげてかく。

しごと

〇・は、〇〇〇のしごとをしています。

そのために、↑このしごとのために

\*さしえをよくみてかんがえる。

つくり①

〇〇〇が、～ あります。  
なっています。

～たり～たりするように、つくってあります。

\*つづけてかく

つくり②

〇〇〇が、～ あります。  
なっています。

～たり～たりするように、つくってあります。

構成	構成の要素	中心語句・重要語句など
I 問題提示	<p>① いろいろなじどう車 いろいろなじどう車が、どうろをはしつて ます。</p> <p>② <b>課題</b> それぞれのじどう車は、<u>どんなじどう車</u>を つくり ますか。</p> <p>③ <b>そのために</b> <u>どんなじどう車</u>をつくり ますか。</p> <p><small>読み取りの観点①</small> ① <small>読み取りの観点②</small> ②</p>	<p>どんなくをしていきますか。 そのために、 どんなくになっていますか。 トヨタ つくり</p>
II 具体例1	<p>④ 車種「バスやじどうよう車」 トヨタ</p> <p>⑤ 人をのせは、<u>バスやじどうよう車</u>を つくり ます。</p> <p><small>読み取りの観点①</small> ① <small>読み取りの観点②</small> ②</p> <p>• <u>バスやじどうよう車が、人をのせは、バスやじどうよう車をつくり</u> <u>ます。</u></p> <p>• <u>大きなバスやじどうよう車をつくり</u> <u>ます。</u></p> <p><small>読み取りの観点①</small> ① <small>読み取りの観点②</small> ②</p>	<p>くは、くトヨタをくつきます。 そのために、 くくつてあります。 あります。 バスやじどうよう車 人をのせは、バス やせきのトヨタがひろく 大きなまじ</p>
III 具体例2	<p>⑥ 車種「トラック」 トヨタ</p> <p>⑦ そのために、 つくり ます。</p> <p><small>読み取りの観点①</small> ① <small>読み取りの観点②</small> ②</p> <p>• <u>トラックは、荷物を運ぶために、</u> <u>大きなトラックをつくり</u> <u>ます。</u></p> <p>• <u>タイヤがたくさんつくり</u> <u>ます。</u></p> <p><small>読み取りの観点①</small> ① <small>読み取りの観点②</small> ②</p>	<p>くは、くトヨタをくつきます。 そのために、 なつてくつきます。 くつてくつきます。 トラック にもつをは、バス ひろくにだて おもくにも タイヤがたくさん</p>
IV 具体例3	<p>⑧ 車種「クレーン車」 トヨタ</p> <p>⑨ そのために、 つくり ます。</p> <p><small>読み取りの観点①</small> ① <small>読み取りの観点②</small> ②</p> <p>• <u>クレーン車は、荷物を運ぶために、</u> <u>大きなクレーン車をつくり</u> <u>ます。</u></p> <p>• <u>車体がかたむきかたむき</u> <u>したあしが、つくり</u> <u>ます。</u></p> <p><small>読み取りの観点①</small> ① <small>読み取りの観点②</small> ②</p>	<p>くは、くトヨタをくつきます。 そのために、 くくつてあります。 くつてくつきます。 クレーン車 おもいものをくつりあげ る じようぶなつで のびたりくついたり しつかりしたあし</p>

要旨 それぞれのじどう車は、その「ト」に合った「ト」をくついている。